



琉球大学学術リポジトリ

University of the Ryukyus Repository

Title	資料等(編集後記)
Author(s)	-
Citation	琉球大学大学教育センター報 = University Education Center Bulltein(21): 113-140
Issue Date	2019-03
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/44587
Rights	

編集後記

岡崎威生（授業支援部門長）

大学教育センター報 21 号は、継続的に取り上げている学士課程教育の質保証にかかる話題に加え、学生 mismatches 分析、グローバル教育の取組報告と多岐にわたる内容となった。

第 1 部においては、学生調査における URGCC 学習教育目標の達成率、教育への満足度、授業外学習時間等の分析結果や、特に 2012 年入学生の経年変化について分析報告している。第 2 部においては、大学教育改善等経費により実施された取組として、タブレット端末を利用した教材開発や、英語力強化の効果検証について報告している。第 3 部では、プロフェッサー・オブ・ザ・イヤーの受賞者による共通教育の授業の工夫として、特に学生の主体性・能動性を高めるノウハウを報告している。第 4 部においては、退学・休学・除籍・留年の早期発見に向けた初年次学生の特徴分析を研究成果として報告している。最後に、グローバル人材育成に向けた活動として、太平洋島嶼地域からの留学生受け入れ事業と、グローバル・プログラム津梁について報告している。

教育は不断の活動であるとともに、何ができれば完成といったゴール設定が困難である。だからこそ効果的かつ効率的な実施体制を模索することが重要であろう。大学教育センター報は、教育活動を記録蓄積した上で、これからの道標を示唆することが期待されている。それが現実のものとなるためにも、多くの教職員に各報告を一読して頂き、意識や情報を共有できることを願う。